

庄原市行政評価シート

平成 **27** 年度評価

事務事業名	がんばる農業支援事業補助金				
実施期間	平成 20 年度 ~ 平成	年度	(終期の設定のない場合は、終期を空白)	所管課	農業振興課

長期総合計画	02-01-01	さとやま資源の活用で地域が輝くまち(産業・交流)	農林水産業の振興	農業の振興
予算科目	会計 01 一般会計	目 03 農業振興費	款 06 農林水産業費	事業 3411 がんばる農業支援事業
			項 01 農業費	

対象者	市民	対象者数など	交付者数:1,380名(H25)
根拠法令・計画等	庄原市がんばる農業支援事業補助金交付要綱		
HPアドレス			

実施目的	農業者の「農業所得10%アップ」を目指し、機械施設等の整備について補助金を交付する。
事務事業の概要	<p>「認定農業者型」 認定農業者(※)が機械器具及び施設等の整備を行なう経費に対して 農業経営改善計画に導入計画のあるもの 補助率2分の1 農業経営改善計画にないもの 補助率3分の1 を補助する。(上限50万円)</p> <p>「一般型」 認定農業者以外の農業者が機械器具及び施設等の整備を行なう経費に対して補助率3分の1を補助する。(上限30万円)</p> <p>※認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法第12条に定める農業経営改善計画(①農業経営の現状 ②農業経営の規模の拡大、生産方式・経営管理の合理化、農業従事の態様の改善等の農業経営の改善に関する目標 ③「②」の目標を達成するためとるべき措置などを定めたもの。)を作成し、これを市長に提出して、この計画が適当であると認定を受けた者</p>

年度別実績概要				
平成 24 年度	認定農業者型	22件	7,633,000円	
	一般型	16件	1,769,000円	
	計	38件	9,402,000円	
平成 25 年度	認定農業者型	29件	9,646,000円	
	一般型	14件	2,288,000円	
	計	43件	11,934,000円	
平成 26 年度	認定農業者型	30件	12,289,000円	
	一般型	14件	1,989,000円	
	計	44件	14,278,000円	

実績指標

(単位:千円)

事業費 (インプット)	項目	内容	H 24	H 25	H 26	合計
	事業費	補助金		9,402	11,934	14,278
						0
						0
		事業費計	9,402	11,934	14,278	35,614
財源	国県補助金					0
	地方債					0
	その他					0
	一般財源		9,402	11,934	14,278	35,614

実績 (アウトプット)	指標名称	単位	基準値	H 24	H 25	H 26	合計
	1	交付件数(認定農業者)	件		22	29	30
2	交付件数(一般農業者)	件		16	14	14	44
3							0
成果 (アウトカム)	1 農業所得 目標(平成22年度からの累計)	百万円		458	944	1,337	2,739
	2 農業所得 実績	百万円		554	1,041	1,478	3,073
	3 達成率	%		121%	110%	111%	
備考	目標値は、農業所得10%以上とし、成果数値は、計画期間(5年間)の累計(平成22年度交付分より集計を開始)で記載している。						

事務事業名	がんばる農業支援事業補助金	所管課	農業振興課
-------	---------------	-----	-------

評価項目		所管課評価	市民意見	評価委員会	評価分布	
分布は、A+1,B+0,C-1で総回答数で割り、小数点以下四捨五入。ただし、A-C又はC-AがBより多い場合はA,Cに補正する					市民意見	評価委員会
優先度		A	A	A	分布	平均
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。				5	4
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。				4	3
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。				0	0
認知度		A	C	B	分布	平均
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。				1	0
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。				2	5
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。				6	2
有効性		A	B	B	分布	平均
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。				4	2
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。				5	5
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。				0	0
受益者満足度		A	C	B	分布	平均
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。				0	1
B	どちらともいえない。				0	6
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか。)				1	0
市民(納税者)納得度		B	B	B	分布	平均
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。				3	1
B	どちらともいえない。				5	6
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。				0	0
代替性		A	B	A	分布	平均
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。				3	5
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。				5	2
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。				1	0
まちづくり基本条例適合性		A	B	A	分布	平均
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。				4	5
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。				3	2
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。				2	0
所管課評価		現行どおり				
評価視点	農業経営は非常に厳しい状況。機械施設等については、県費等での対応は限られたものへの補助しかなく、それ以外は市費で対応するしかない。農業経営者の経費負担の軽減による経営意欲の向上や所得増は必要不可欠な施策であり、現行どおりとすることについて意見を求める。					
所管課が課題と考える内容	毎年申請者が増加しており、予算が不足する事態が発生している。					
市民意見(プラモニ)		※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。) ※全意見は、ホームページに掲載しています。				
意見数分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	その他の見直し	総回答数
	5	2	1	0	1	9
主な意見	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業で生計がたてられるような仕組みづくりができればよいと思います。【法人団体登録者】 農業は庄原市の大切な産業であり、実際に10%以上の成果が出ているようなので、効果が高い事業と思います。【40代・女性】 私は農業者ではないですが、農協なども協力し、今後も農業者を支援してください。【60代・男性】 <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般農業者に対する補助は評価できるが、法人格を持たない営農集団への補助が全く行われていない。行政としては法人化を促進しているため、集団への補助を行わないものと思われるが、地域の総意で法人化していないとすれば、まちづくり、地域の支え合いの観点から補助してもいいのではないかと思います。【50代・男性】 <p>【その他の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上限30万円が交付を受けた方にどれだけ効果があったのかが分かりかねますが、少なすぎるという声が多かった場合、拡充して実施すべきと考えます。わが地域の農家も高齢化が進み、機器や施設を導入することで何とか農業を続けている方が多い様に感じております。趣旨が異なるかもしれませんが、この制度が農業者減少の歯止めとなれば良いと思います。【30代・女性】 <p>【その他の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費が大きくても助成金額は一定であるため、やる気のある農業者については物足りないと思う。設備投資等を行い規模拡大を計画する経営体に対しては、リース等の斡旋助成をし、経営の見える化を促すほうが良いと思う。やる気があり前向きな経営体とそうでない経営体とは区別をするべきだ。【60代・男性】 					

事務事業名	がんばる農業支援事業補助金	所管課	農業振興課
-------	---------------	-----	-------

行政評価委員会評価 現行どおり	※行政評価委員会の摘録(会議内容)は、ホームページに掲載しています。
------------------------	------------------------------------

総括 意見	<p>農業は本市の基幹産業であり、農業者の支援は重要な施策であることから、次の事項に配慮しつつ支援を継続されたい。</p> <p>① 補助対象者には補正予算での対応を含め、財源不足による不採択が生じないように配慮すること。</p> <p>② 国・県制度対象外の者を補完する制度として、きめ細やかな支援を行うこと。</p> <p>③ 販売額等の成果について、根拠資料の確認等により正確な把握に努めること。</p> <p>④ 高齢者や帰郷者にも幅広く活用いただき、地域の活性化につながるよう総合的な視点から事業を推進すること。</p>
----------	---

※委員会における最終的な評価として総括したものであり、最も分布の多い評価を優先するものではありません。

評価分布	現行どおり	拡 充	縮 小	終 了	その他の見直し	
	4	3				

各委員 の意見	<p>【現行どおり】</p> <p>①本市の基幹産業として位置付けられている農業は厳しい経営状況にあり、市内の農業者の営農意欲を維持向上させる施策として現行どおり継続することが必要と考えます。</p> <p>②農業が基幹産業の本市での多様な担い手の育成のための重要な事業であり、所管課評価の現行どおりで良いと思います。</p> <p>③一般農業者の方々が長期にわたり安定した経営をするためには、必要な支援だと思う。 申請者が増加傾向にあるなら、予算の増額・申請期間など内容の見直しも必要なのではないか。</p> <p>④農業の支援は当地域にとって重要な取組みであり、きめ細やかな対応が必要だと感じます。市費の対応が必要であっても現行どおり以上の対応が求められると思います。</p> <p>【拡充】</p> <p>⑤中山間地域の農林業の果たす役割は大きく、大規模農業にまで至らない地域などで、定年後の農林業就労促進も含め、国県要綱に至らない部分を補う役割として必要であると考えます。 今後、元気で農林業に携わる高齢者を育てるため、さらに内容を充実する必要があると考えます。</p> <p>⑥実績、成果をみると効果が高い事業だと思います。農業が継続でき、所得アップできるよう補助を続けてほしいと思います。 毎年申請者が増加し予算が不足する事態が発生しているとのことですが、出来る限り申請を通してほしいと思います。</p> <p>⑦厳しい中での農業経営を手助けする事業であると思います。毎年申請数が増えているのであれば、予算の増額をしてでも頑張っている農業者を支援していただきたい。</p>
------------	--

今後の事業実施の方向性	
--------------------	--

詳細	
----	--

備考	
----	--